



Humanware By Systemware

2021年3月期 第2四半期決算説明

2020年10月26日

日本システムウエア株式会社

取締役 執行役員常務 須賀 譲

11月13日に開示しました修正後発事象を反映し、
該当箇所を下線で表示しております。

(11月13日追記)

Humanware By Systemware

1. 第2四半期決算概要

連結業績 概要

(単位:百万円)

	2021年 3月期 2Q実績	計画比		前年同期比		計画	2020年 3月期 2Q実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
		売上高	17,743	△556	△3.0%		
営業利益	1,745	+165	+10.4%	△128	△6.9%	1,580	1,873
同率	9.8%	+1.2p	/	△0.3p	/	8.6%	10.1%
経常利益	1,761	+161	+10.1%	△127	△6.8%	1,600	1,888
同率	9.9%	+1.2p	/	△0.3p	/	8.7%	10.2%
当期純利益	<u>1,117</u>	<u>+17</u>	<u>+1.5%</u>	<u>△191</u>	<u>△14.7%</u>	1,100	1,309
同率	<u>6.3%</u>	<u>+0.3p</u>	/	<u>△0.8p</u>	/	6.0%	7.1%
受注高	18,417	/	/	+131	+0.7%	/	18,285
受注残高	15,353	/	/	+1,145	+8.1%	/	14,208

➤ 減収減益。計画比は利益のみ達成。

連結業績 主な増減要因

計画比

【売上高】

ITソリューション	△362百万円
サービスソリューション	△156百万円
プロダクトソリューション	△37百万円

【営業利益】

売上減に伴う減少	△100百万円
売上総利益率の向上	+200百万円
不採算案件の影響	△80百万円
販管費未執行 (旅費交通費、教育訓練費等)	+150百万円

前年同期比

【売上高】

ITソリューション	△805百万円
サービスソリューション	△149百万円
プロダクトソリューション	+212百万円

【営業利益】

売上減に伴う減少	△145百万円
売上総利益率の低下	△150百万円
不採算案件の影響 (改善)	+60百万円
販管費未執行 (旅費交通費等)	+100百万円

ITソリューションセグメント 概況(1)

(単位:百万円)

	2021年 3月期 2Q実績	計画比		前年同期比		計画	2020年 3月期 2Q実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	5,637	△362	△6.0%	△805	△12.5%	6,000	6,443
ビジネスソリューション	1,775	/		△486	△21.5%	/	
金融・公共ソリューション	2,822			△226	△7.4%		
システム機器販売	1,039			△92	△8.1%		
営業利益	399	△80	△16.7%	△315	△44.1%	480	715
同率	7.1%	△0.9p		△4.0p		8.0%	11.1%

受注高	5,782	/		△665	△10.3%	/	
受注残高	6,327			△77	△1.2%		

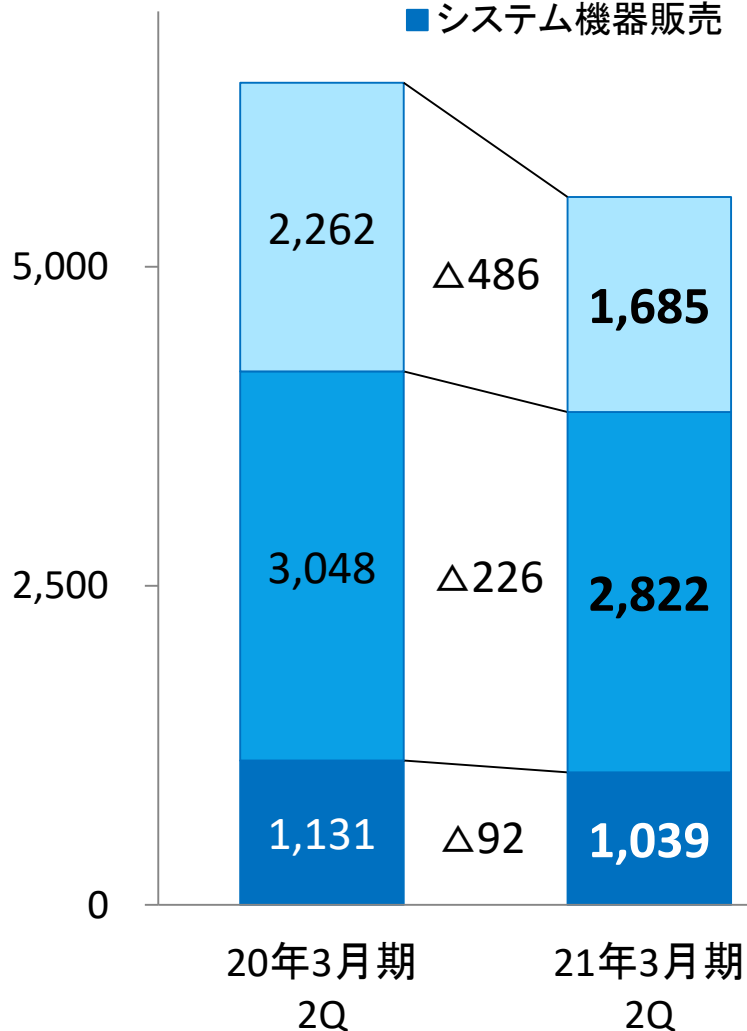
- 売上は、前期の官公庁・団体向けシステム開発や小売業向け機器販売の反動に加え、1Qの営業活動制限や不採算案件の影響による新規案件の獲得遅れにより、減収
- 利益は、減収に伴う利益減、前期の高収益案件の反動などにより、減益

ITソリューションセグメント 概況(2)

【売上高】

(単位:百万円)

- ビジネスソリューション
- 金融・公共ソリューション
- システム機器販売



【ビジネスソリューション】

- 製造業向け
パッケージ関連は堅調も、一部受託案件の終了により減少
- 小売業向け
前期大型案件の反動
- 物流業向け ほか
不採算案件の影響により減少

【金融・公共ソリューション】

- 金融・保険業向け
生損保向け受託案件は回復基調も、決済関連が減少
- 官公庁・団体向け
開発サイクルの谷間、前期大型案件の反動等により減少

【システム機器販売】

- 前期の小売業向け機器販売の反動減

サービスソリューションセグメント 概況(1)

(単位:百万円)

	2021年 3月期 2Q実績	計画比		前年同期比		計画	2020年 3月期 2Q実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
		売上高	4,643	△156	△3.3%		
デジタルソリューション	1,124	/		+135	+13.7%	/	
クラウド・インフラサービス	3,518			△285	△7.5%		
営業利益	224	+24	+12.3%	△52	△18.9%	200	276
同率	4.8%	+0.7p	/		△0.9p	4.2%	5.8%
受注高	4,849	/			+450	+10.3%	/
受注残高	4,736			+781	+19.7%	3,954	

- 売上は、IoT & AIサービスは堅調に推移したものの、案件の一時中断やスライド、一部顧客の運用案件の終了などが影響し、減収
- 利益は、減収に伴う利益減などにより、減益

サービスソリューションセグメント 概況(2)

【売上高】

(単位:百万円)



【デジタルソリューション】

- IoT・AI
製品IoT化を中心に堅調推移。
「RealWear」関連サービスも拡大
- WEB・EC
前期大型案件の反動、下期への案件スライド等により減少。

【クラウド・インフラサービス】

- クラウドサービス
既存システムのクラウド化等が増加
- インフラ・DC
ネットワーク構築案件やハウジング等が減少
- その他サービス
データ連携サービス等は増加も、既存顧客案件が縮小

プロダクトソリューションセグメント 概況(1)

(単位:百万円)

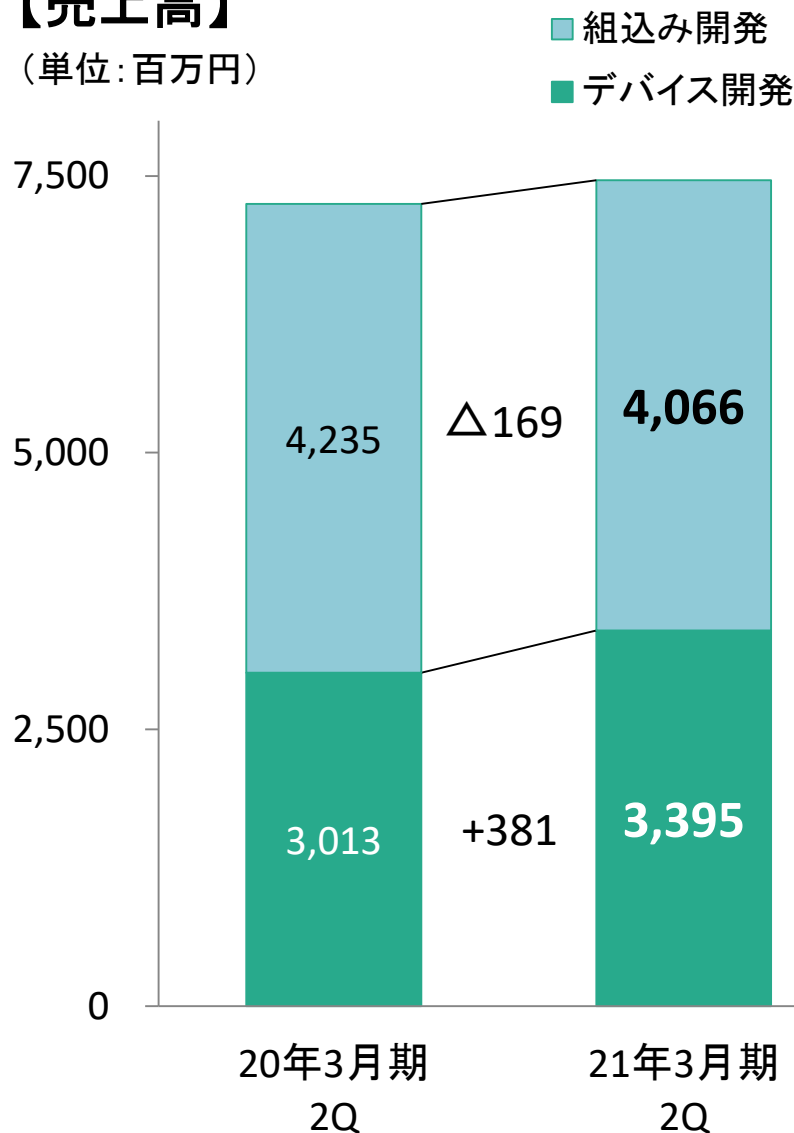
	2021年 3月期 2Q実績	計画比		前年同期比		計画	2020年 3月期 2Q実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	7,462	△37	△0.5%	+212	+2.9%	7,500	7,249
組込み開発	4,066	/		△169	△4.0%	/	
デバイス開発	3,395			+381	+12.7%		
営業利益	1,120	+220	+24.5%	+239	+27.2%	900	881
同率	15.0%	+3.0p	/		+2.9p	12.0%	12.2%
受注高	7,784	/		+346	+4.7%	/	
受注残高	4,290			+442	+11.5%		

- 売上は、デバイス開発事業が堅調に推移し、増収
- 利益は、増収に伴う利益増、デバイス開発における一部案件の収益性向上などにより、増益

プロダクトソリューションセグメント 概況(2)

【売上高】

(単位:百万円)



【組込み開発】

●オートモーティブ

カーナビなど従来型のIVI関連が減少も、CASE領域、モビリティ関連が増加

●設備機器

産業設備や医療機器向けの受託案件が一部減少

●通信

既存顧客案件を中心に横ばい維持。
5G/ローカル5G関連案件の商談本格化

●モバイル

従来型の開発・評価案件が大幅減少

【デバイス開発】

画像処理やエッジAI関連市場の伸びを背景に体制増強、対応領域拡大

※IVI(In-Vehicle Infotainment): 主に車載領域で、情報(インフォメーション)と娯楽(エンターテインメント)を提供するシステムの総称

※CASE: Connected(コネクテッド)、Autonomous(自動化)、Shared(シェアリング)、Electric(電動化)の4つの頭文字をとった車の次世代技術や新サービスの造語

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2021年3月期 第2四半期末	2020年3月期 期末	前期末比
流動資産	21,958	21,815	+142
固定資産	<u>8,768</u>	8,701	<u>+67</u>
資産の部	<u>30,726</u>	30,516	<u>+209</u>
流動負債	<u>6,056</u>	6,789	<u>△732</u>
固定負債	2,399	2,354	+44
負債の部	<u>8,455</u>	9,144	<u>△688</u>
純資産の部	<u>22,270</u>	21,372	<u>+897</u>
流動比率	<u>362.5%</u>	321.3%	<u>+41.2p</u>
固定比率	<u>39.4%</u>	40.7%	<u>△1.3p</u>
自己資本比率	<u>72.5%</u>	70.0%	<u>+2.5p</u>

現金及び預金	+195
商品	+255
仕掛品	+635
受取手形、売掛金	△1,034

損害賠償損失引当金	+198
未払法人税の減少	△225
賞与引当金の減少	△227
未払消費税の減少	△300

当期純利益	+1,117
配当金の支払	△222

連結キャッシュフロー

(単位:百万円)

	2021年3月期 2Q累計期間	2020年3月期 2Q累計期間	前年同期 比増減
現金及び現金同等物の期首残高	11,488	8,402	+3,085
営業活動による キャッシュ・フロー	795	1,050	△254
投資活動による キャッシュ・フロー	△374	△164	△210
財務活動による キャッシュ・フロー	△223	△264	+41
現金及び現金同等物の増減額	195	619	△423
現金及び現金同等物の期末残高	11,683	9,021	+2,662

【主な営業活動CF】

税前当期純利益	1,563
売掛債権	1,039
たな卸資産	△890
未払消費税	△300
賞与引当金	△227
損害賠償損失引当金	198
法人税等の支払	△607

【主な投資活動CF】

敷金及び保証金の差入	△155
有形固定資産の取得	△150

【主な財務活動CF】

配当金の支払	△222
--------	------

Humanware By Systemware

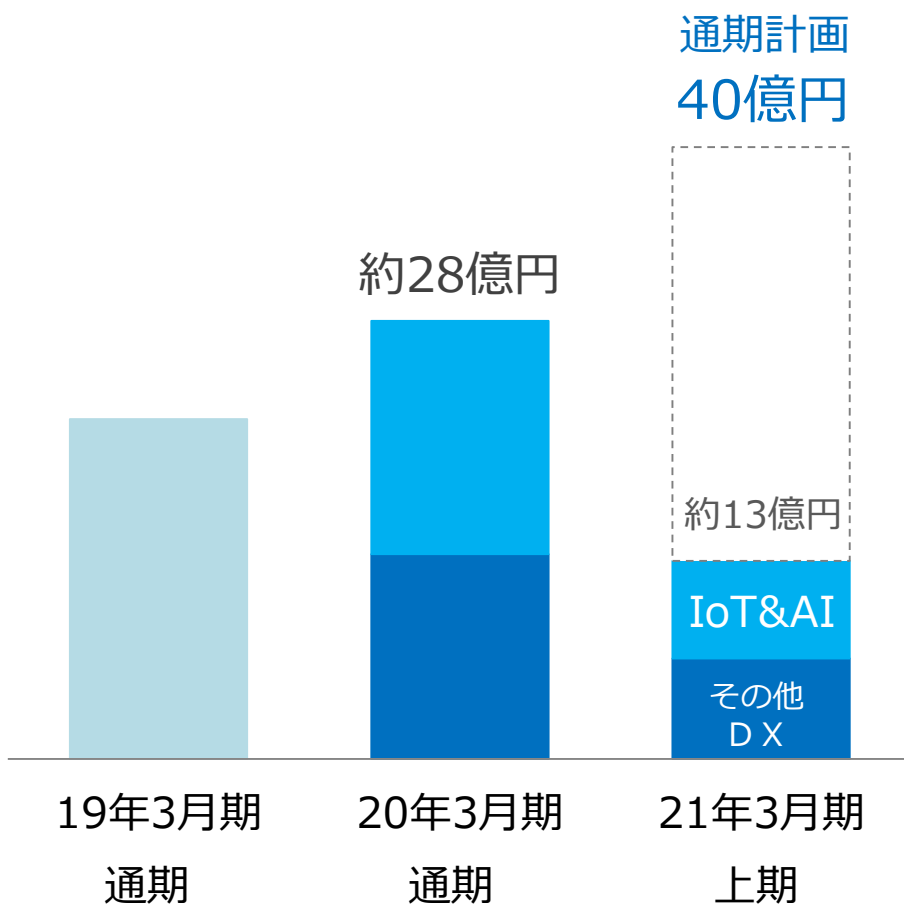
2. 通期業績見通し

DX関連 上期実績と注力ポイント

中期経営計画スローガン(2019年4月～2022年3月)

DX FIRST

お客様のDX実現を先導する企業へ



注力ポイント

- 製造業、建設業、小売業向けIoT・AI関連サービスの拡大
- スマートグラス「RealWear」と既存ソリューションを融合した新たなサービス創出 など

⇒ 上期はコロナ禍による案件の一時中断、検収スライド等発生し、前年同期比横ばい

事例① 弊社DCサービスにおけるDX

RealWear 遠隔作業支援サービス

- 遠隔（テレワーク）のお客様と機器類の状態をモニターで共有
- お客様から指示を受け、コマンド投入やケーブル抜線作業を代行
- スマートグラスで手順書を参照しながら操作



運用自動化サービス（AI Ops）

サーバアラート
予兆検知

セキュリティ
運用監視AI

脆弱性
診断AI

ChatBot
自動回答

自動
音声回答

構成管理
自動化

リモート運用・監視サービス

弊社の監視センターから遠隔地のシステム運用を支援
(2011年～)

**リモート・AI技術活用により省人化、自動化、非接触を実現
お客様のシステム運用業務のDXをご提案**

事例② 電子棚札ソリューション



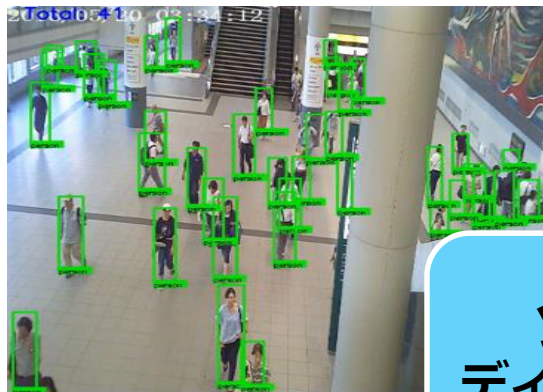
- ✓ 値札貼り替え作業を大幅軽減
- ✓ 即時の価格変更が可能
- ✓ 貼り間違いなどのオペミス削減

ダイナミックプライシングや
スマホアプリとの連携を強化



店舗運営の省人化、自動化、効率化をサポート
日本は大手企業で導入開始。市場は伸び始めたばかり

事例③ ウィズコロナを支えるソリューション



空間の人数カウント
City Visionを応用

AI画像解析の保有技術を活用



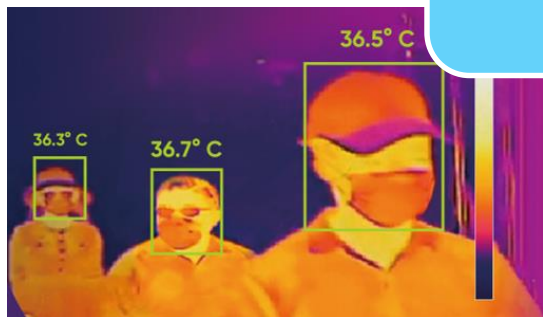
非着用者にアラート

ソーシャル
ディスタンス検知

マスク着用/非着用
認識AI

熱感知AI

手洗いVision
(動作手順判定)



カメラ撮影動画とAIアルゴリズムで
アナログデータを素早くデジタル化



食品工場をはじめ医療、物流、外食等の現場へご提案

外部環境

- 新型コロナウイルス感染症の影響による不透明感はあるものの、経済活動の再開が進むなか、徐々に持ち直しの動き
- デジタル変革(DX)や、働き方改革推進による生産性改善目的のIT投資需要に加え、ウィズ／アフターコロナ社会を支えるサービスやソリューション需要の高まりも



- 小売業、製造業をはじめとした主要顧客の動向に注視し、事業環境変化に臨機応変に対応
- 比較的堅調なプロダクトソリューションのデバイス開発、サービスソリューションのデジタル分野の拡大で、ITソリューションの落ち込みをカバーしながら、同事業の収益改善に注力

不採算案件の状況

- ITソリューション事業において前期発生した不採算案件の影響残る
- ほぼ収束見込みも、不確定要素を含んでおり、追加損失のリスクは若干残っている状況

不採算案件抑止に向けた対策の強化

- ✓ 品質管理観点での組織マネジメント強化
- ✓ 組織横断的な重点プロジェクトの見える化

連結業績予想

(単位:百万円)

	2021/3期 下期 期初計画	前年同期比		2021/3期 通期計画	前年同期比		2020/3期 実績
		増減額	増減率		増減額	増減率	
売上高	20,200	+412	+2.1%	38,500	+226	+0.6%	38,273
営業利益	1,920	△66	△3.4%	3,500	△360	△9.3%	3,860
同率	9.5%	△0.5p		9.1%	△1.0p		10.1%
経常利益	1,940	△69	△3.5%	3,540	△358	△9.2%	3,898
同率	9.6%	△0.6p		9.2%	△1.0p		10.2%
当期純利益	1,300	△58	△4.3%	2,400	△268	△10.1%	2,668
同率	6.4%	△0.5p		6.2%	+0.8p		7.0%

- 不採算案件の抑制ならびに事業基盤の強化に注力
- ニューノーマルに向けたDXソリューション・サービス提案強化

セグメント別業績予想

(単位:百万円)

		2020/3期 下期 期初計画	前年同期比		2020/3期 通期計画	前年同期比		2020/3期 実績
			増減額	増減率		増減額	増減率	
IT ソリューション	売上高	6,900	△72	△1.0%	12,900	△515	△3.8%	13,415
	営業利益	570	+79	+16.2%	1,050	△155	△12.9%	1,205
	同率	8.3%	+1.3p	/	8.1%	△0.9p	/	9.0%
サービス ソリューション	売上高	5,400	+339	+6.7%	10,200	+346	+3.5%	9,853
	営業利益	350	△3	△1.1%	550	△80	△12.8%	630
	同率	6.5%	△0.5p	/	5.4%	△1.0p	/	6.4%
プロダクト ソリューション	売上高	7,900	+145	+1.9%	15,400	+395	+2.6%	15,004
	営業利益	1,000	△142	△12.5%	1,900	△123	△6.1%	2,023
	同率	12.7%	△2.0p	/	12.3%	△1.2p	/	13.5%

資本政策と株主還元方針

成長戦略と財務健全性を両立した財務戦略の実現

資本効率

- 健全な自己資本の水準を維持
- 株主資本利益率(ROE)12%以上の持続的成長

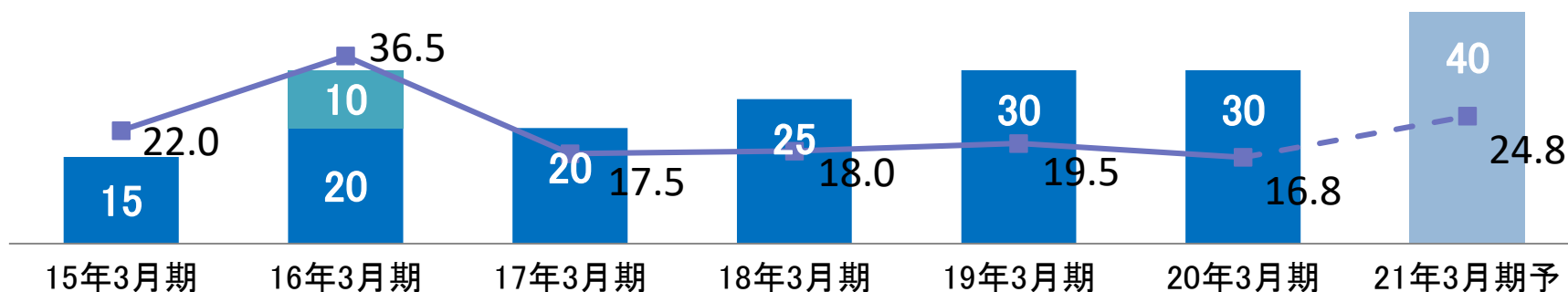
株主還元

- 財務状況および業績に応じた安定的かつ継続的な配当を実施

成長投資

- 将来の企業成長に必要な投資を継続
研究開発、M&A・アライアンス、人材育成

一株あたり配当金の推移・連結配当性向の推移



NSW

Humanware By Systemware